

ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2017. 9.2-3

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Super Taikyu 2017 Series Round-5 / Fuji

(2017.9.2-3)

www.brp.gr.com

BRP Audi Mie RS3 LMS は開幕から続くHONDAとの激戦り中、シリーズ最長10時間のレース第5戦富士をベストリザルト2位で終える。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2017年9月2日～3日に開催された「スーパー耐久シリーズ第5戦 富士スピードウェイ」において、ST-TCRクラスのAudiとHONDAそしてVWの3大メーカーバトルの中、クラス2位のベストリザルトでシリーズ最長の10時間レースを終えました。

【8月31日(木)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

バースレーシングプロジェクトは、今季から新設されたST-TCRクラスにAudi RS3 LMSを投入して、レースウィーク木曜日からテスト走行を開始しました。オートポリス戦でCドライバーとして戦った新人の上野嘉三選手ですが、富士戦ではDドライバーとして登録され、10時間の長丁場を4名のドライバーで戦う事となりました。今季のスーパー耐久で最長のレースとなり更にシリーズポイントを稼ぐ為に、最重要なレースとなり、今まで以上に結果を求められる緊張感が高まるレースウィークがスタートしました。

【9月1日(金)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

4名のドライバーが集合し、金曜日のフリー走行を車両・ドライバー共に順調にメニューを消化して走行を進めます。富士戦よりタイヤのコンパウンドが変更となり、以前よりロングステイットを行う事ができるようになり、新しいタイヤの特性を探りながらセットアップと、10時間の長丁場のレースを、タイヤライフのマネジメントをしっかりとシュミレーションしながら、金曜日のフリー走行を終えました。



【9月2日(土)公式予選】天候:晴れ 路面:DRY

公式予選がいよいよ始まりました。

Aドライバーの奥村浩一選手がアタックを開始して3周目に1' 52.937でクラス3番手を獲得し、続くBドライバーの秋吉圭選手も果敢にアタックしますが、1' 54.362で、クラス5番手となりました。Cドライバー山脇大輔選手も順調アタックを見せて1' 52.869を記録しクラス3番手で予選を終えました。Dドライバー上野嘉三選手もベストパフォーマンスを見せて1' 52.557のクラストップで予選を終えました。

A・Bドライバーの合算タイムで、富士スピードウェイの決勝レースはクラス5番手で最下位からの苦しいポジションからの、10時間レースのスタートとなりました。

【第5戦富士スピードウェイST-TCRクラス予選結果】

Aドライバー:	奥村 浩一	コース:DRY	タイヤ:スリック	1' 52.937	クラス3位
Bドライバー:	秋吉 圭	コース:DRY	タイヤ:スリック	1' 54.362	クラス5位
Cドライバー:	山脇 大輔	コース:DRY	タイヤ:スリック	1' 52.869	クラス3位
Dドライバー:	上野 嘉三	コース:DRY	タイヤ:スリック	1' 52.557	クラス1位

1位	No.10	Racingline PERFORMANSE GOLF	3' 44.948
2位	No.45	LIQUI MOLY RS3 LMS	3' 45.122
3位	No.98	Modulo CIVIC TCR	3' 45.504
4位	No.97	Modulo CIVIC TCR	3' 46.555
5位	No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	3' 47.299



【9月3日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY

いよいよ10時間のシリーズ最長の決勝レースのスタートを迎えました。

スタートドライバーはベテランの奥村浩一選手が務めました。奥村選手は順調にスタートをきめて、前方を走る4台のTCR車両と同じペースを保ちながらも、タイヤを温存してロングステントを走ります。TCR車両の中で最長の48周を周回して、次の秋吉選手に交代しその後、山脇選手、上野選手、秋吉選手、山脇選手と順調にレースを展開していきますが、山脇選手のドライブ中に他クラスの車両と接触し、右リアタイヤを大きく破損してタイヤがバーストした為、緊急ピットインで復旧作業を行います、素早く復帰はしましたが、緊急ピットインの際にピットロードスピード違反があり、ピットスルーペナルティを課せられますが、チェッカードライバーに再び奥村選手を投入して、最後の追い上げを図ります。奥村選手はコンスタントに安定したLAPを刻み走行を続けて、最後までロングステントで走行を続けました。

そして10時間の長丁場のレースをクラス2位の今季ベストリザルトでレースを終えました。

【第5戦富士スピードウェイST-TCRクラス決勝レース結果】

1位	No.10	Racingline PERFORMANSE GOLF	(298)	10:02' 25.546
2位	No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	(293)	10:01' 18.302
3位	No.97	Modulo CIVIC TCR	(271)	10:01' 49.604
4位	No.98	Modulo CIVIC TCR	(224)	10:00' 27.868
リタイア	No.45	LIQUI MOLY RS3 LMS	(172)	7:27' 10.361



ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2017. 9.2-3

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

BRPとしてもっとも得意とするシリーズ最長の10時間のロングレースという事で、優勝だけを目指して10時間全力で戦いましたが、一步及ばず2位という結果でレースを終えました。

レースにはif(もし)はございませんが、他車との接触やペナルティが無ければ優勝も十分狙える位置で10時間走っていただけに正直落胆も大きいですが、気持ちを切り替えて早速最終戦岡山に向けて車両の準備とテスト走行を進めております。

チームは最終戦を目前に、更にチーム内のシンクロ率も向上して非常にパフォーマンスも高く、進化を続けており、10時間の長丁場でも見事なチームパフォーマンスを発揮致しました。

このまま今季の激闘の経験を重ねながら更に熟成と連携強化を進めていき、ドライバーとスタッフの両面から、強いチームの最終進化致しますので、是非今後ともご支援・ご声援お願い致します。

BRP代表 奥村浩一



ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2017. 9.2-3



■2017年BRPスーパー耐久プロジェクトパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先：office@brp.gr.com





BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com